

2024年6月1日開催（4743）アイティフォー

お時間によりお答えいただけなかったご質問へのご回答

FY2024～26 中期経営計画において、特に注力する分野や地域はどこですか？

- フィナンシャルシステム事業は安定成長を継続し、決済事業については大きな伸びしろがあると考えています。また、通信システム事業の社会インフラ対応にも注力します。

地方銀行における審査・延滞管理システム導入シェアの記載がありますが、それ以外に地方自治体に対してどんなシステムを導入していますか？

- 金融機関向けに販売している債権管理システムやオートコールシステムを、地方自治体様向けに徴税管理システムとして転用し販売しております。また、教育委員会向けに、学務支援システムの提供も行っています。

AI を用いた業務効率化や、AI を組み込んだ商品開発をされていますか？

- 管理部門では AI を活用した一部業務の DX 化を進めているほか、現在当社の一部パッケージシステムと他社の AI モデルを API 連携することでのお客様の業務効率化支援について開発を進めております。また、生成 AI を搭載したシステムの開発および販売を検討しております。

先ほどのオービーシステムとは事業的にどのように違いがあるのですか？

- オービーシステム様の業務内容を詳しく存じませんが、当社は、新規システムの受託開発ではなくパッケージシステムの販売を主軸としている点に違いがあるかと思えます。また、原則として当社は SES(技術者の労働の提供)は行っておりません。

地方公共団体の基幹業務の標準化の動きは御社にとってビジネスチャンスとなりますでしょうか？

- これまで自治体ごとに独自の業務手順やシステムが組まれていましたが、標準化が進むことによって業務手順が整理され、別の領域のシステム化のニーズが出てくると想定しており、当社のビジネスチャンスに繋がるものと認識しております。

同業他社の M&A による事業拡大は考えられないのですか。

- 過去3年間では成果は得られませんでした。同業他社(ソフトウェア開発・情報通信、いわゆるIT業界)であれば SE 人材の獲得、開発手法やノウハウの享受、双方の顧客浸透などを通じての事業拡大に繋がるものと認識しています。

御社の社名の由来は？

- お客様のために最適な IT を提供するサービス企業でありたいという思いが社名の由来になっています。
例えば「IT for ○○銀行様」というように、お客様に寄り添ったご提案をしたいという意味が込められています。

中計での種まきとは何を想定しているのでしょうか？

- 最新技術の獲得と当社事業への応用に向けた研究開発などを想定しております。
例えば、ブロックチェーン技術を応用した Digital Safe、Syddy による決済代行事業への参入、認証技術を活かしたショーケース、新規事業専任の社内ベンチャー組織(VVP)などです。既存事業も進めつつ新規商材、新規事業創出を進めてまいります。